

アサヒペン



速乾 サビドメ スプレーR

作業性抜群

用途

鉄製の門扉・フェンス・シャッター
パイプ・機械器具・農機具等、屋内外の
鉄部・鉄製品の下塗り用サビドメ



丸吹きパターン

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

標準塗布面積(1回塗り)
1.0~1.4㎡
タタミ0.6~0.8枚分

乾燥時間
夏期/10~20分
冬期/20~40分

速乾タイプ

300ml

使用方法・注意書きをよく
読んでから使用して下さい。

商品名 速乾サビドメスプレーR

品名 合成樹脂塗料

成分 合成樹脂(アクリル樹脂)、顔料、防錆剤、有機溶剤

使用方法

1. 塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等を取ります。さびはサンドペーパーやワイヤーブラシを使ってしっかり取り除きます。
2. 塗料が十分に固まるまでは、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。
3. 使用するときは、容器を十分に振り(雑球の音がしてから30秒間)、よく混ぜます。使用中も時々容器を振りかきして中身をよく混ぜます。
4. 塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は15~25cmの間隔をとります。
5. 目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・下地への影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。
6. 一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややずつめにまんべんなく2~3回塗り重ねます。
7. 使用後は、噴射口がつかまらないよう容器をさかさかして2秒くらい空吹きし、噴出口をよくふいてからキャップをします。
8. 2時間以上乾かしてから上塗りします。本品は下塗り用です。必ず上塗りをして下さい。ラッカー系塗料を上塗りする場合は、スプレー塗装して下さい。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

危険



- 引火性あり ●強い眼刺激 ●機器の障害
- 呼吸器への刺激のおそれ ●眠気やめまいのおそれ
- 水生生物に毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意

- ①表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ②自動車やバイクの補修、耐熱性が必要となる、床面には適しません。
- ③天気の良い薄曇りの日に塗って下さい。結露する時期には早めに塗り替えて下さい。
- ④取扱い中は必要に応じてマスクや手袋を着用して、できるだけ皮膚に触れないようにして下さい。
- ⑤有機溶剤が含まれているので、塗装中とともに換気をするして下さい。
- ⑥塗料を吹きつけるときは、人物からかからないよう注意して下さい。
- ⑦容器を逆さにした状態で吹きつけて下さい。
- ⑧キャップの色は、実際の色と多少異なることがあります。
- ⑨塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。
- ⑩中心をえす中身の塗料をよくなる時は、火気のない屋外で、新聞紙などに塗らば、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑪容器を捨てるときは、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を十分に抜き、他のゴミとはききり別けて捨てて下さい。
- ⑫容器を落下させると中身が吹き出すことがあります。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲、誤食、いたずらしないように注意して下さい。
- ②中身が濡れたり凝固する危険がありますので、容器が錆びやすいところや、直射日光が当たるところ、自動車内・農務器具の周辺など温度が高くなる場所に置かないで下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ①炎や火気の近くで使用しないこと。
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- ④火の中に入れないこと。
- ⑤使い切って捨てること。

高圧ガス:DME

第2石油類 135ml / 危険等級Ⅲ / 火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(A-069)

ガス抜きキャップの使い方

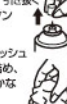
注意事項

- ①必ず中身を思い切ってから行って下さい。
- ②火気のない屋外で行って下さい。
- ③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
- ④機器が割れないよう平らな場所で行って下さい。

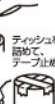
ガス抜きの方法

- ①スプレーから押しボタンを引く
- ②キャップの内側にティッシュペーパーを5~6枚巻きセロテープで厚手のように止めます。

ボタンを引く



ティッシュをテープ止め



③容器を立てた状態でステムにキャップ天面の穴を合わせず押し込みます。キャップが固定されてシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2~3時間放置後、缶には油性ペンでガス抜き済と表示し、キャップとステムを分別廃棄して下さい。



株式会社 **アサヒペン** 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 MADE IN CHINA
http://www.asahipen.jp (品質設計は日本で行っています)

お客様相談室
東京 03-3846-9545 / 大阪 06-6934-0300

フィルム: プラスチック(PP) ボタン: プラスチック(PE)
キャップ: プラスチック(PP) 容器: スチール